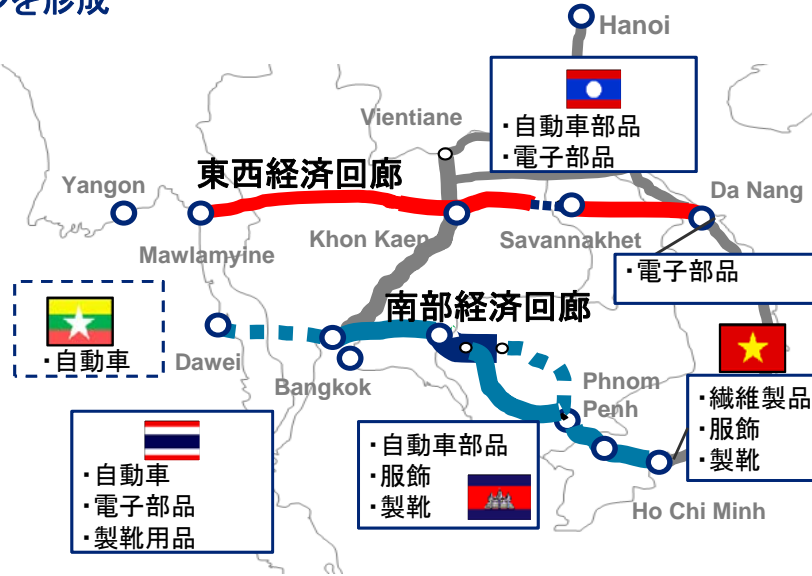


# 「メコン産業開発ビジョン」の概要

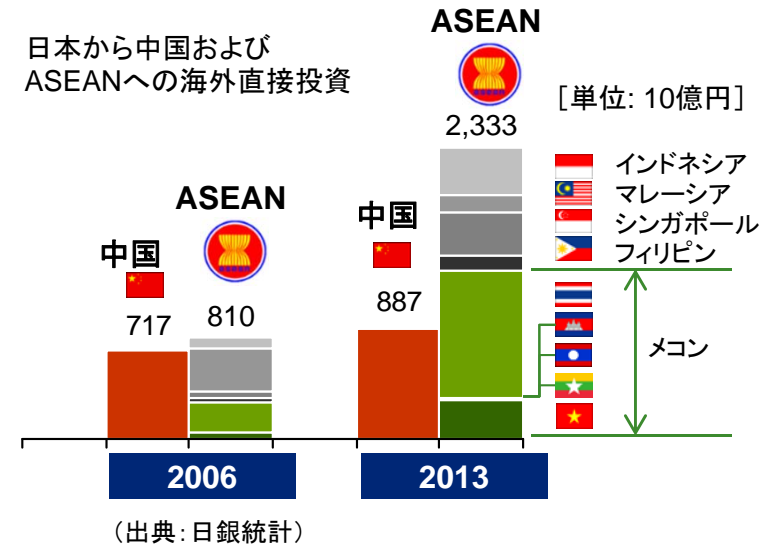
## メコン地域の現状と将来像

### メコンの魅力

単一の市場として発展し、強固に連続したサプライチェーンを形成

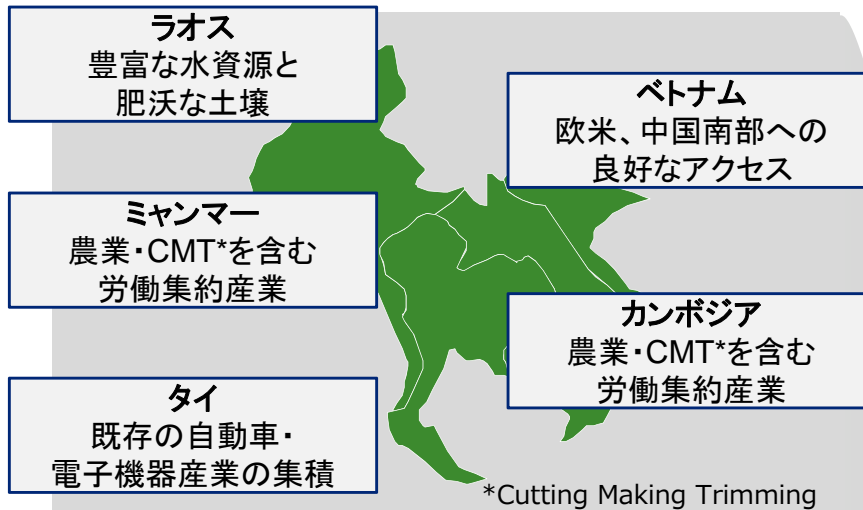


### 海外直接投資増を誘引

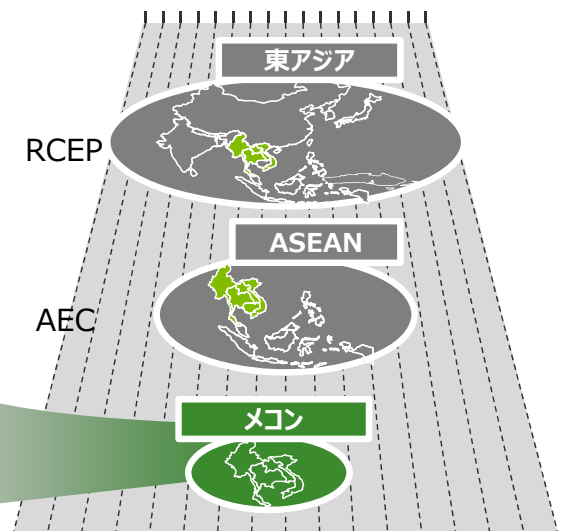


### メコン主導による東アジアの経済統合

#### 各国の強みを伸ばしつつ相互に補完 (Specialization & Collaboration)



### 急成長するアジア巨大市場のジャンクションとして機能



## 各国の強みを生かした絵姿

メコン地域が各国の強みを活かすため、中長期的に各国は以下の絵姿を目指す。

タイ



- 既存の分厚い産業集積を活用し、工業化の先導役として、サプライチェーンを周辺国に拡張しつつ、本国産業の高付加価値化・技術の高度化を図る。

ベトナム



- 人口と内需のポテンシャル、深海港・経済連携を通じた欧米へのアクセス、中国華南地域への近接性などの優位性を活用する。
- また、一貫した政策の実施により、自動車、電気・電子等の投資を呼び込み、産業集積形成に向けた取組を強力に実施する。

ラオス



- 工業化の黎明期であり、初期段階として、豊富な労働力と天然資源、既存の縫製業等の集積を活用するとともに、労働集約的工工程など生産ブロックを多く誘致し、技術スピルオーバーによる地場企業の競争力強化、人材レベル底上げを図る。
- 中長期的には隣国との補完関係、本国の強みを組み合わせた産業の立地を志向する。

- 豊かな水資源・土壌を活用した精密機械工業、資源加工工業等。

ミャンマー



- 既存の縫製機能を活用したより付加価値の高い繊維・生地生産、製品企画機能の立地促進。運輸産業、修理・部品産業の拡大等

カンボジア



- 特色のある野菜や果物などを初めとする食品加工を戦略的な輸出産業に育成。そのバリューチェーンに位置する農機、食品加工機器製造、コールドチェーン、食品小売、外食産業も育成（農業の生産性向上、農業生産者／中小企業と市場とのつながり）。

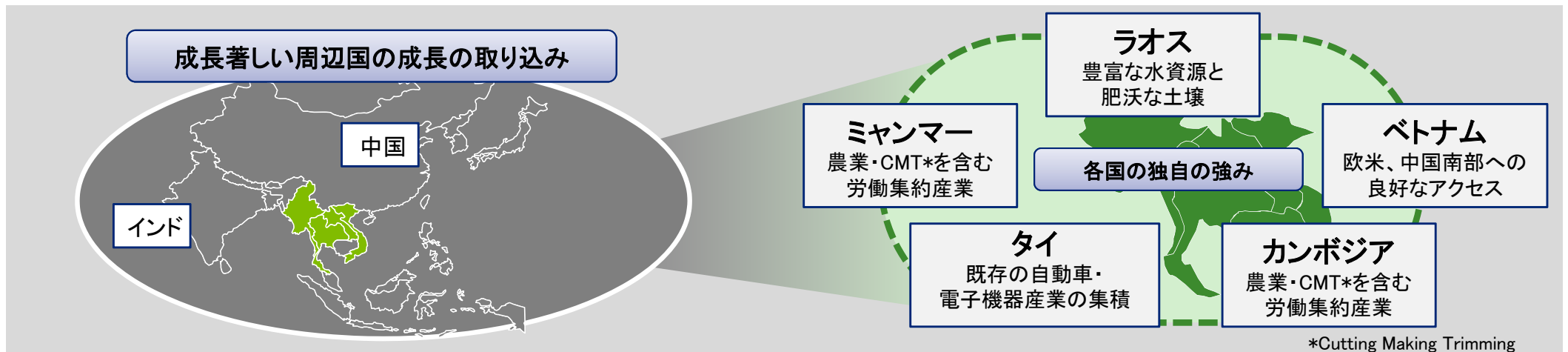
# 「メコン産業開発ビジョン」について

## 〈基本的な考え方〉

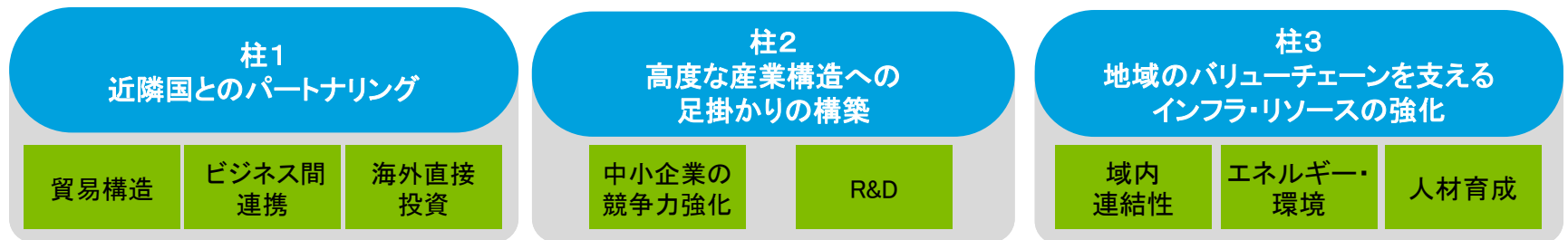
- ◆ 成長著しい周辺国の成長を取り込みつつ、産業の高度化やバリューチェーンの強化、“Specialization & Collaboration”の考えのもと、各国の独自の強みや競争力を生かしながらの相互補完的发展を通じ、メコン地域一体として成長していく。
- ◆ また「アジア、さらには世界のバリューチェーンの中核地域」としての発展を目指す。

## 期待される効果

2020年時点で、約200億米ドル、メコン地域のGDPの約2%に相当するGDPの増加を狙う。



## メコン産業開発ビジョン (2016-2020)



## ワークプログラム (2016-2020)

具体的な案件を「ワーク・プログラム」として取りまとめ、2016年の日メコン産業政府対話、日メコン経済大臣会合に報告するとともに、その進捗状況については毎年、経済大臣会合に報告。

# 第一の柱: 近隣国とのパートナーリング

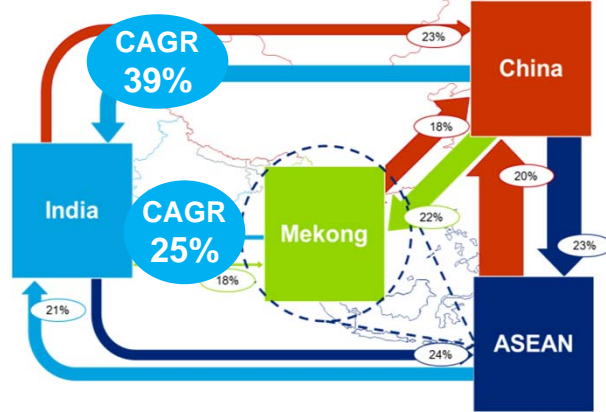
## メコンの「強み」と「克服すべき点」

### 貿易構造

- 急成長するインド市場との間での補完的な産業育成、バリューチェーン構築が達成されていない

(出典: Uncomtrade、ADB、世銀「World Development Indicators」のデータより算出)

地域間での貿易取引のCAGR('00-'10)



## 政策の方向性

- AEC および RCEPの成立
- 越境取引円滑化に向けた地域一体的な取り組み(通関円滑化等)
- 新産業の育成

### 海外直接投資

- 一部の国において、資源、労働集約型産業への投資が集中
- 高付加価値産業、新産業(医療、環境・エネルギー等)が呼び込めていない

メコン地域における注目すべき海外直接投資(2013-14)

■ : 労働集約産業および資源類

| カンボジア | ラオス   | ミャンマー | タイ   | ベトナム  |
|-------|-------|-------|------|-------|
| 服飾    | 水力発電  | 繊維製品  | 社会基盤 | 火力発電  |
| 製靴    | 鉱物資源  | 社会基盤  | 自動車  | 自動車   |
| セメント  | 不動産   | 製造業   | 電子部品 | 電子部品  |
| 自動車部品 | 農業    | 電子部品  |      | 石油・ガス |
|       | 自動車部品 |       |      |       |

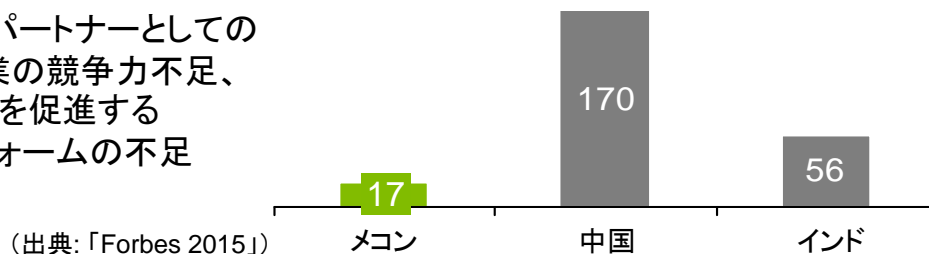
(出典:「ASEAN Investment report 2013-14」を元に作成)

- 中小企業を含めた高付加価値産業群の創造(JETRO等を通じた投資家への情報提供・相談窓口整備)
- 国境SEZにおける隣国とのWin-Win関係構築
- 新産業の創出と育成
- 中小企業への技術移転の促進

### ビジネス間連携

- ビジネスパートナーとしてのメコン企業の競争力不足、事業連携を促進するプラットフォームの不足

フォーブス2000ランクイン企業数(2015年)



(出典:「Forbes 2015」)

- ビジネス間連携を促進するための共通基盤の整備(法制度、ビジネス環境)
- ビジネスマッチングの機会提供(見本市開催、ミッション派遣)

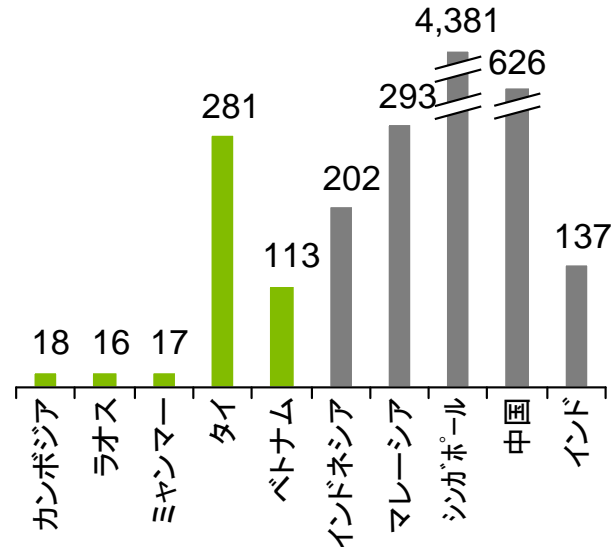
## 第二の柱：高度な産業構造への足がかりの構築

### メコンの「強み」と「克服すべき点」

#### R&D

- 研究開発投資の量的不足
- 研究開発従事者の人材不足

100万人あたりの研究開発従事者数



(出典: Thomson、WEF Global Competitiveness Ranking 2013-14、UNESCO)

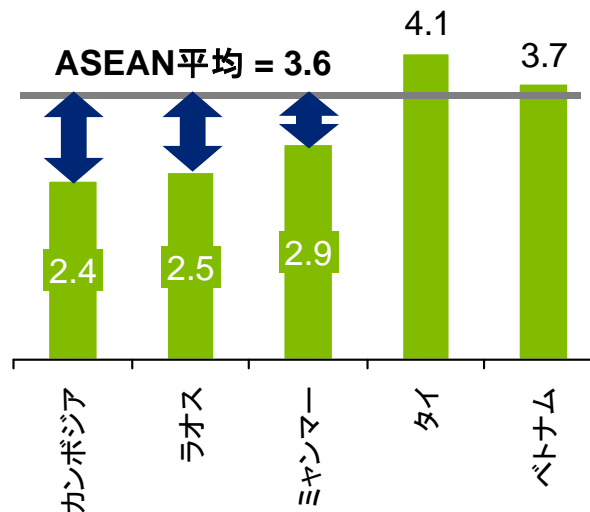
### 政策の方向性

- 生産拠点への近接性を活かした開発機能の誘致
- 大学間連携や産学連携(口座開設、インターンシップ等)を通じた研究開発人材の創出

#### 中小企業の競争力強化

- 人的・資金面でのリソース制約(特に金融アクセス)

SME policy index 2014



(出典: ERIA「ASEAN SME Policy Index 2014」)

- “ASEAN strategic action plan for SME development (2016-2025)”の着実な実施

# 第三の柱:地域のバリューチェーンを支えるインフラ・リソースの強化

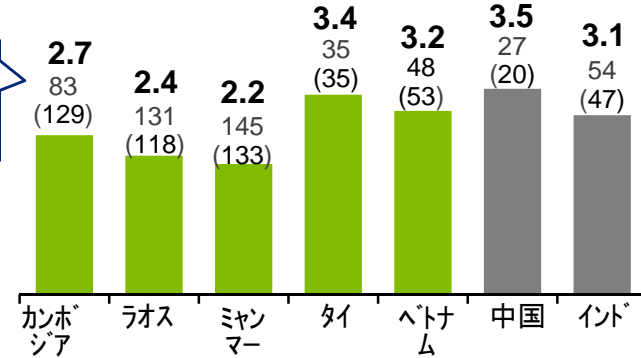
## メコンの「強み」と「克服すべき点」

### 域内 連結性

- 道路インフラの更なる改善  
(特にミャンマー国内および  
ミャンマー隣接地域)

スコア  
順位  
(2010年  
の順位)

Overall Logistics Performance Index (2014年)



(出典: WB「The Logistics Performance Index and Its Indicators 2012, 2014」)

- 域内物流円滑化への取り組み  
(CBTA履行等のソフト  
インフラ)

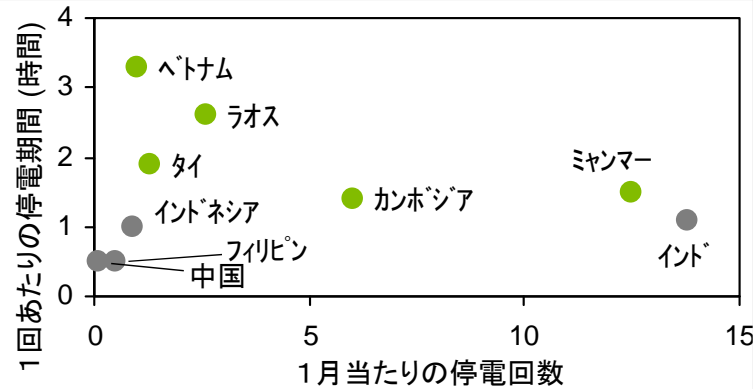
## 政策の方向性

- 東西経済回廊、南部経済回廊、ベトナムにおける連結性向上(特にミャンマー部分)
- インド洋に面した新深港整備
- 「質の高いインフラ」の整備
- CBTAの運用面での改善に向けた投資家からのインプット
- 税関行政の近代化

### エネルギー ・環境

- 不安定な電力供給(イン  
フラ不足、グリッド連結)
- 省エネへの取り組み
- 環境問題(大気汚染、水  
質汚濁、廃棄物)への対応

(出典: WB)

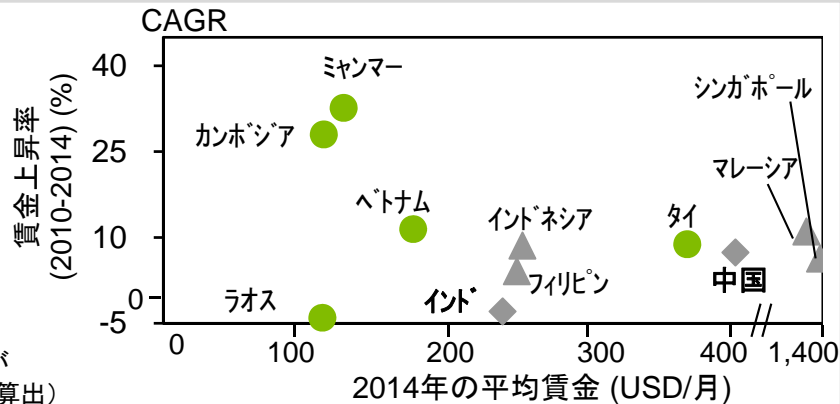


- エネルギーのベスト・ミックスの検討
- 域内電源開発、電力の国家間融通の促進
- 省エネ、再生エネの加速
- 静脈産業の育成等

### 人材育成

- 生産性改善なき  
賃金上昇、高離  
職率、労使紛争
- 熟練工不足

(出典: 平均賃金はJETROが  
実施した日系企業調査から算出)



- 人材育成ハブ機能の創造
- 基礎教育レベルの底上げ、域内先進地域や現場レベルの職業訓練・倫理向上